学校だより

6月号

令和8年5月 29 日発行

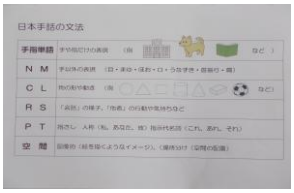
小机小学校教育目標
心豊かに学び合い、ともに伸びる子

横浜市立小机小学校
〒222-0036
横浜市港北区小机町 1382-10
TEL 045-472-8591

小机小学校のホームページは右記の QR コードでご覧になれます。

多様性と共生社会

学校長　　遠藤　淳子



一段と気温変化の大きい日々が続いています。入学・進級から 2 ヶ月が経ち、子ども達も少しずつ新しい学年の顔つきに変化・成長している様子が見られます。保護者の皆様には、授業参観・懇談会、宿泊体験学習の説明会、個人面談等、多くの機会でご来校いただいております。ご協力くださり、ありがとうございます。

5 月 14 日（木）の委員会活動に、５年生が総合的な学習の時間でつながる青葉区「めめ菓子工房」スタッフの泉さんが広報ふれあい委員会の手話講師として来校してくださいました。神奈川県では、５月を手話月間と位置付けており、横浜市としても手話が言語であることの理解を推奨しています。そこで、手話を第一言語とする泉さんに「日本手話」についての理解を深める講座を行っていただきました。

「日本手話」は、音声言語をそのまま手話の単語に置き換えていくのではなく、表情や肩の動き、手首から先の動きを多様に混ぜて、情意を豊かに表現しながらコミュニケーションをとる言語です。５・６年生の委員会児童は、泉さんの表現豊かな日本手話に惹きつけられ、「算数と国語のどちらが好きですか？」という質問に教えてもらった手話で応えたり、手話で拍手をしたり、「ありがとうございました」と、手話で伝えたりしながら、楽しい時間を過ごしました。「日本手話は、自分たちが普段話している言語と同じようにコミュニケーションをとることができることを知った。」「これからも手話を知って、色々な人と話してみたい。」等、感想をもった子ども達は、お昼の放送で学んだことや思ったことを TV 放送で全校に発信を行いました。

私は、これまで、入学式や昼会等で手話の話をしてきましたが、５月が手話月間ということもあり、給食室前で、その日の給食メニューで提供される食材を、手話で給食当番に伝えています。「親子丼」「魚のフライ」「アスパラ」「もやし」「パインアップル」・・・小机の子ども達は素直なので、どの学年の子も、私の手話を真似して覚えていきます。手話も言語であることを理解し、多様な人との共生を自然にしていくことができる小机の子になってほしいと思っています。個人面談の中で、宿題にいつもは余り乗り気ではない子が、手話は自分から進んで調べ始めているという話もあったと耳にします。新しい知識を柔軟に受け入れることができる子ども達は、これからの多様性と共生社会の中においても優しさを十分に発揮してくれることと期待しています。

【第一回学校運営協議会】

５月 19 日（火）に第一回学校運営協議会を行いました。令和８年度の学校経営について私から説明したり、委員の皆様には、授業参観後に子ども達や教職員の様子を評価していただいたりしました。

＜いただいた感想・ご意見＞（一部抜粋）

・国際理解や外国語の授業が講師と一緒に楽しく展開されている。引き付けられて見ていた。
・子ども達も先生方も、挨拶がよい。挨拶がよくできる学校だと言える。
・ペア学年交流がよい。「自分がいないと低学年の子が困る」と、高学年の自覚が出てきた。
・兄弟・姉妹がいない子もいて、他者とどう接してよいかよくわからない子もいる。教室の隣が異学年になり、たくさん異学年と関わる経験ができてよい。

＜いじめの未然防止：大人がすること・できること＞（一部抜粋）

・子どもとよく話をすること。積極的に挨拶をすること。積極的に我が子の周りの子にも関わっていくこと。
・卒業しても見守っていることを伝え続けること。
・他者との違いを認められるように、相手をリスペクトすることを教えていくこと。

年間目標　　『あいさつをしよう』

（あ…明るく　い…いつも　さ…先に　つ…続けよう）

6月

《生活》雨の日のすごしかたを工夫しよう
《保健》　歯や口の中をきれいにしよう
《給食》せいけつを心がけよう

